

## 第 83 春季年会「学生講演賞」の表彰

第 83 春季年会実行委員会委員長 相澤 益男  
研究交流部門年会活性化検討 WG 主査 岩澤 康裕

本会では若手研究者が各自の研究をまとめた形で発表することによって、その研究のより一層の進展と活性化をはかることを目的として、第 83 春季年会(2003 年)から、従来の講演「A 講演」(講演 7 分, 討論 3 分)に加え、「B 講演」(講演 15 分, 討論 5 分)を新設しました。その発表者資格は、「正会員または大学院博士(後期)課程に在籍する学生会員」です。さらに、博士課程に在籍する学生会員の優れた B 講演には、選考のうえ「学生講演賞」を授与し本会会長名で表彰することにしました。

「学生講演賞」は発表内容、プレゼンテーション、質疑応答などにおいて優れた講演で、講演者の今後の一層の研究活動発展の可能性を有すると期待されるものに対して表彰を行うものです。

今年度の春季年会は 3 月 18 日から 3 月 21 日までの 4 日間、早稲田大学西早稲田キャンパスで開催され、対象となった B 講演 307 件の中から 101 件が選考されました。選考は次のように行いました。

①部門のプログラム部門長またはプログラム編成委員、②プログラム編成委員より推薦された正会員、③座長、の 3 名が当該講演を聴講し、採点表をもとに審査しました。その結果をもとに第 83 春季年会実行委員会内の選考委員会で選考し、第 83 春季年会実行委員会決定しました。

今年度の受賞者は以下の通りです。これらの受賞者にはその栄誉をたたえ、さらに一層の研鑽を積まれますことを期待いたしまして平成 14 年度会長(野依良治)名で受賞者の所属機関長を経由して表彰状をお届けしました。

なお、昨年開催の第 82 秋季年会をもって秋季年会は廃止されましたが、その分、春季年会をより活性化したいという考えのもと、様々な改革を検討しております。今回導入しました学生講演賞ならびに今後の年会のあり方につきまして会員の皆様からのご意見をお寄せいただければ幸いです。さらに日本化学会に対しても積極的に発言、コミットしていただきますようご協力をお願いいたします。

### 第 83 春季年会「学生講演賞」受賞者一覧

[物理化学関係](物理化学, 分析化学, コロイド・界面化学, 化学情報・計算機化学, 有機結晶)  
安田伸広氏(東工大院理工)  
1 J 5 06 単結晶 X 線構造解析による P(II) 核錯体の光励起構造  
高畑昌弘氏(阪大院理)  
1 J 5 28 デンドリティック分子集合体における 1 および 2 エキシトンダイナミクス  
二見能資氏(東農工大院生物システム応科)  
4 J 5 11 パルス超音速分子線中に生成した臭化メチルクラスタのマトリックス単離赤外分光  
榎本健悟氏(東工大院理工)  
3 J 4 32  $\pi$  d 電子系(DMET)<sub>2</sub>FeBr<sub>2</sub> の磁気構造モデルの提案  
鈴木研二氏(分子研)  
4 J 4 01  $\theta$ (ET)<sub>2</sub>RbZr(SCN)<sub>2</sub> の高圧相での電荷分離  
松宮弘明氏(東北大院工)  
1 A 2 13 チアカリックスアレーン誘導体をプレカラム錯体化試薬とする超微量金属イオンの逆相分配 HPLC 吸光検出法  
高貝慶隆氏(茨城大工)  
1 A 2 37 均一液抽出法によるビタミン B<sub>12</sub> の選択的分離回収システムの開発  
清中茂樹氏(九大有機研究セ)  
1 H 2 45 超分子集合体の新展開 2: コンビナトリアルアプローチによる感温性超分子ポリマーの発見  
岩浦里愛氏(産総研)  
1 H 2 48 オリゴアデニル酸を鋳型とした双頭型ヌクレオチド脂質の DNA 様ナノファイバー形成  
金原正幸氏(北陸先端大)  
2 H 3 10 新規酸および塩基性配位子で保護した金ナノ粒子の合成と二次元超格子の創製  
北浦 良氏(京大院工)  
3 H 1 05 配位高分子結晶のマイクロ孔における酸素分子ラダーの形成と物性

菅原彩絵氏(東大院工)  
3 H 1 07 周期パターン構造を有する炭酸カルシウム薄膜の自己組織の形成  
杉安和憲氏(九大院工)  
4 H 2 05 プロトン応答型蛍光性低分子ゲル化剤の開発  
橋本雅司氏(九大院総合理工)  
4 H 2 07 2(3,4,5 トリアルコキシベンゾイルアミノ)5 シアノトロポノイドの自己組織化  
[無機化学関係](無機化学, 錯体・有機金属化学)  
石渡晋太郎氏(京大院理)  
1 C 9 51 ペロブスカイト型酸化物 BiNiO<sub>3</sub> の構造と物性及び A サイト置換効果  
堤内 出氏(東農工大工)  
1 F 4 32 有機白金ヘテロ二核錯体によるチラン類及びチエタン類の開環反応  
石山 武氏(阪市大院理)  
1 F 5 28 リン版 CGC 型錯体である Zr, 及び Hf 錯体の合成法の開発, 構造, 及びエチレン重合触媒能  
岸 忍氏(奈良女大人間文化)  
2 F 3 10 長鎖アルキル基を有するピピリジン白金(II) 錯体の集積能と発光特性  
石田真太郎氏(東北大院理)  
2 F 4 15 初めての安定なトリシラアレン  
加藤芽里氏(奈良女大理)  
3 F 3 01 グルコース 1 リン酸を用いた銅(II) 多核錯体の合成及びその反応性  
山田泰之氏(東大院理)  
3 F 3 03 ピリジン型人工 DNA を用いた Ag(I), Hg(II) イオン集積化と DNA 高次構造制御  
砂田祐輔氏(名大院理)  
3 F 5 11 第 8 族遷移金属チアアリル錯体の合成と反応  
松嶋雄司氏(阪大産研)  
3 F 5 34 面不斉シクロペンタジエニル ルテニウム錯体を触媒に用いるアリル位置換反応の速度論的分割  
椿 英明氏(東工大院理)

4F2 05 配位子間の弱い相互作用を利用したレニウムピピリジン錯体の物性制御  
正岡重行氏(京大院工)

4F2 17  $\mu_2, \eta^2, \eta^2$  型ベンゾキノロン配位子を有する新規錯体群の合成と性質  
植村一広氏(京大院工)

4F3 10 多孔性構造を自動修復する新規配位高分子の構造と性質  
石田 豊氏(筑波大化)

4F4 13 ハロゲン置換シクロトリゲルメンを鍵化合物としたゲルミルカチオン, アニオン及びラジカルの合成  
上田和孝氏(北大薬)

4F5 16 窒素固定とトランスメタル化を利用したアリルアミド及びアリルアミンの合成  
[有機化学関係](有機化学, 天然物化学)  
生田靖弘氏(東大院理)

2C2 24 ピロリジノンエノラートのアルキル化反応における反応中間体の構造と面選択性  
西前祐一氏(阪大院理)

2C8 07 新奇なビス(9 アンスリル)メチル誘導体 合成法の開発と化学  
大木一朗氏(阪大院基礎工)

2C8 09 ジベンゾテトラキスデヒドロ[12]アヌレンの生成と同定  
西田辰介氏(阪大院理)

2C8 11 MO based VB 法を用いた開殻有機分子の電子構造の解釈: オキソフェナレノキシルラジカルのスピン密度分布  
荒谷直樹氏(京大院理)

2C8 13 メゾ メゾ結合ポルフィリン多量体の合成と光物性  
橋 熊野氏(阪府大院工)

3C7 33 ロタキサン構造を有する光学活性チアゾリウム塩の合成とそれを触媒とする不斉ベンゾイン縮合  
原 道寛氏(阪大産研)

4C2 12 ナノ秒レーザー ピコ秒レーザー 2 段階照射によるラジカルカチオンの励起状態  
西峯麻里氏(阪大院工)

4C2 14 DNA 挿入分子の光誘起電子移動ダイナミクスのドライビングフォース依存性  
永木愛一郎氏(京大院工)

1G1 11 効率的マイクロミキシングを利用した Friedel Crafts モノアルキル化反応  
沈 懌氏(東工大院総合理工)

1G1 37 フッ化物イオンメディエーターを用いる有機電解合成(11) オキシンドールおよび3 オキソテトラヒドロイソキノリン誘導体の合成  
早水智生氏(阪府大院工)

1G1 44 光誘起電子移動反応における立体選択性: 電子不足型アルケンのラジカルアニオンを経由する光アリル化反応  
波多野 学氏(東工大院理工)

1G4 47 高活性カチオン性 BINAP パラジウム触媒による高エンタチオ選択的スピロキノリン環形成反応  
牧野竜也氏(名大院工)

1G5 30 ロジウム(I)触媒を用いたエン アレンの環化異性化反応  
柳澤秀行氏(東大院理)

1G6 13 リチウムアルキリデンカルベノイド炭素上での求核置換反応

釣谷孝之氏(京大院工)

1G6 15 オキシムエーテル誘導体を用いる新規ピリミジン合成の開発  
長谷川 輝氏(北大院工)

1H7 49 アミノラジカルのタンデム環化反応によるインドリジン類の合成  
大岡佳子氏(東大院理)

1J1 41 剛直な dendrimer 型骨格を有する新規なトリアリールホスフィン配位子とその金属錯体の合成, 構造, および反応  
野村 弾氏(京大院理)

1J1 43 トリアリールビスムタンオキシドの反応  
島田恵一氏(東大院理)

1J1 47 bowl 型立体保護基を活用した安定なスルフェネートアニオンの合成と構造  
神谷育代氏(奈良女大理)

1J1 53 パラジウム触媒存在下アセチレン類の高選択的チオシアノ化およびセレンシアノ化反応  
柏木行康氏(阪大院工)

2G1 10 配位結合を有するナフタレンジイミド 亜鉛ポルフィリン超分子の光ダイナミクス  
田嶋稔樹氏(東工大院総合理工)

2G1 25 有機化合物の電解部分フッ素化(97). 芳香族複素環化合物の電解フッ素化反応およびその合成的応用  
松尾敬子氏(東大院理)

2G5 27 鉄触媒によるオキサビシクロアルケン類と有機金属試薬の付加開環反応  
竹内三舟氏(京大院理)

2H4 14 相間移動条件下でのチアゾリン・オキサゾリン誘導体の直接的不斉四級化反応  
齋藤明良氏(京大院理)

2H5 07  $\alpha, \alpha$  ジアルキル  $\alpha$  アミノアルデヒド類の不斉骨格転位反応: 光学活性  $\alpha$  ヒドロキシケトンの新規合成法の開発  
安井義純氏(東工大院理工)

2H6 13 エリスリナルカロイドの立体選択的合成法の開発  
山本祥正氏(長岡技科大化)

3G1 15 電極還元反応または金属亜鉛によるワンポット二重炭素 炭素結合形成反応  
藤田和也氏(京大院工)

3G4 17 ジルコノセン アリル ヒドリド型錯体のダブル求核種としての利用  
伊藤謙之介氏(九大院総合理工)

3H4 31 キラルルイス酸触媒とアキラルアミン触媒を用いた2重活性化法による炭素求核剤の不斉触媒的 Michael 付加反応の開発  
綿引 勉氏(茨城大理)

3H6 25  $\text{FeCl}_3$  触媒を用いるアルデヒドの高効率アリル化反応  
関 淳氏(横国大院工)

3H6 27 スペース修飾型架橋高分子固定化リチウムジアルキルアミドを用いるアルドール反応  
飯村真也氏(東大院薬)

3H6 32 疎水性高分子固定化 Bronsted 酸を用いる水中での有機反応  
白波瀬 雅氏(九大院総合理工)

4H7 05 a,b 不飽和アルデヒドの触媒的不斉ニトロ環状付

加反応

- 井上 圭氏 (信州大工)  
4 H 7 17 カルボニルイリドと  $\alpha$  ケトエステル類との不斉付加環化反応  
稲村誠一氏 (阪大院理)  
2 D 1 05 合成ペプチドグリカンフラグメントによるヒト単球のサイトカイン誘導活性  
半田政己氏 (北里大薬)  
3 C 3 28 アセチルコリンエステラーゼ阻害薬 (+) アリスガシン A, B の不斉全合成  
小林正治氏 (東北大院理)  
3 C 4 26 シガトキシン ABCDE 環部の合成  
高村浩由氏 (東北大院理)  
3 C 4 28 ガンビエロールの全合成  
安立昌篤氏 (東工大院理工)  
3 D 1 12 ワンポットグリコシル化反応を用いたシアル酸含有 O 結合型糖アミノ酸ユニットの合成研究  
日下真一氏 (東工大院理工)  
3 D 1 29 カルボニル化反応を基盤とするマクロスフェライドライブラリー構築に関する研究  
白畑辰弥氏 (北里大薬)  
4 C 3 09 インドールアルカロイド, ネオキサリンの全合成研究  
森 一樹氏 (東大院薬)  
4 C 3 13 ナフチリジノマイシンの合成研究  
大藪紀雄氏 (名大院生命農学)  
4 D 1 11 テトロドトキシンの不斉全合成  
[ 生体関連化学関係 ] ( 生体機能関連化学 / バイオテクノロジー )  
寺村裕治氏 (早大院理工)  
1 G 3 47 血小板代替物としてのアルブミン重合体とリン脂質小胞体の認識反応制御  
前田大光氏 (九大院理)  
1 G 7 47 多重 N 混乱ポルフィリンの自己組織化  
新垣篤史氏 (東農工大工)  
1 G 9 44 磁性細菌のナノマグネタイト生成における結晶化イニシエータータンパク質の分離, 及び解析  
北川和哉氏 (京大院工)  
2 G 3 13 ヘリックスペプチド単分子膜の走査プローブ顕微鏡観察  
岡本 創氏 (早大院理工)  
2 G 3 17 ペプチドナノリング・ナノチューブの分子設計と電子論  
佐藤雄久氏 (北大電子研)  
3 G 2 35 生分解性高分子を用いた多孔性 scaffold の作製と細胞接着・形態の変化  
佐々木和樹氏 (東大院理)  
3 G 2 42 Akt/プロテインキナーゼ B (PKB) による蛋白質リン酸化の蛍光可視化プローブの開発とそれを用いた単一生細胞内での Akt/PKB 活性の動態の観察  
當倉武彦氏 (京大院工)  
3 G 3 33 プチダレドキシシン P 450 cam 複合体形成に伴う構造変化の分子機構  
三好大輔氏 (甲南大理工)  
3 G 8 51 *in cell* chemistry を指向したバイオナノサイエンス (14) 細胞内環境因子と核酸の構造多様性の相関  
加藤太郎氏 (慶大院理工)  
3 G 9 33 微生物を用いた  $\alpha$  置換カルボン酸のデラセミ化反

応

- 上山博幸氏 (九大院工)  
4 G 8 07 Specific Interaction induced Fluorescence Enhancement (SIFE) を利用した新規二本鎖 DNA 検出試薬の開発  
田中一生氏 (京大院工)  
4 G 8 11 効率的ホール輸送を指向した新規修飾核酸塩基の合成と物性評価  
[ 材料化学関係 ] ( 高分子化学, 材料化学, 材料の機能, 材料の応用 )  
梅山有和氏 (京大院工)  
1 C 5 12 ラジカル共重合法によるヒ素およびリン原子含有共役系高分子の合成とその特性  
永井篤志氏 (山形大工)  
1 C 5 40 L, D セリンより誘導した光学活性モノマーのリビングカチオン開環重合とステレオブロックポリマーの合成  
奥 智也氏 (阪府大院工)  
2 C 5 09 チオール ジスルフィド交換反応を利用したポリロタキサンネットワークの合成  
荏原充宏氏 (早大院理工)  
2 C 6 13 無血清条件下での細胞培養と非侵襲的な細胞の回収を実現する新規培養皿の創製  
森野一英氏 (名大院工)  
3 C 5 33 ポリ ((4 カルボキシフェニル) アセチレン) に誘起されたらせんキラリティーの不斉増幅とその記憶  
福島誉史氏 (横国大院工)  
3 C 6 14 反応現像画像形成法を基盤とした感光性エンジニアリングプラスチックの開発  
川野竜司氏 (横国大院工)  
3 C 6 24 イオン性液体及びイオンゲル中におけるヨウ素レドックスカップルの電荷輸送機構  
西海豊彦氏 (慶大院理工)  
3 C 6 28 Class II / III 混合原子価状態をとる *N,N'* ジフェニル 1,4 フェニレンジアミン構造の設計と機能  
山本和弥氏 (九大有機基礎セ)  
1 B 5 31 アルミノシリケートナノファイバー表面での直接重合によるポリマーナノハイブリッドの構築  
川島康裕氏 (東工大資源研)  
2 B 5 13 アゾベンゼン単分子膜からの情報転写プロセスによるメソポーラスシリカの光配向制御  
山田真実氏 (東大院理)  
2 B 6 14 多段階レドックス分子修飾金属ナノ微粒子の電気化学的凝集現象 機構と薄膜化  
山本哲士氏 (阪大院工)  
2 B 6 16 マイクロ波照射におけるポリオール法による金属酸化物ナノ結晶の合成  
村上昌孝氏 (阪大院基礎工)  
1 B 3 06 レーザー多光子吸収によるフォトクロミックジアリールエテン誘導体の反応制御: 高励起状態における反応メカニズムの解明  
穴田貴久氏 (九大院工)  
1 B 4 53 DNA ポリマーコンジュゲートによるインテリジェントアンチセンス医薬の創製  
[ エネルギー関係 ] ( 触媒化学, 資源利用化学, エネルギー, 環境・グリーンケミストリー, 地球・宇宙化学 )  
板谷篤司氏 (岡山大理)  
2 E 2 16 より有効な窒素吸着特性を有する CuZSM 5 ゼオライトの調製

渡辺奈津子氏（明星大地球環境保全セ）

3 E 1 36 二酸化チタン光触媒を用いた内分泌かく乱物質アミ  
トロールの光酸化メカニズム

中村龍平氏（阪大院基礎工）

1 A 3 37 TiO<sub>2</sub> 光触媒の反応中間体その場検出による反応機構

の研究

柴 剣宇氏（都立大院理）

2 F 1 12 ICP MS による隕石試料中の U 同位体比定量法の検  
討